



白梅通信

9月号 H30.9.14 発行

宮城県古川黎明高等学校 〒 989-6175 宮城県大崎市古川諏訪一丁目 4 番 26 号
TEL 0229-22-3148 FAX 0229-22-1024 <https://freimei-h.myswan.ed.jp>

第14回黎明祭～夢で膨らめ黎明Ballon～



【クラスパフォーマンス1位に輝いた3年2組】

文化の祭典！中高合同文化祭

9月1日(土)、2日(日)の2日間、中・高合同の第14回黎明祭が開催されました。1日はクラスパフォーマンスに、2日は一般公開及び出店販売・PTAバザーへと、多くの保護者や一般の方々のご来場をいただきました。また、本年度で5回目の訪問となるタイからの国際交流来日しているプリンセスチュラポーン・サイエンスハイスクール・サトゥーン校の生徒6名教職員4名も黎明祭を楽しんでもらい、お互いの研究成果を発表し合うなどの日・泰の交流に花が咲きました。加えて、保護者の皆様にはPTAバザーにご協力いただき、ありがとうございました。



【模擬店の様子】



【茶華道部のお点前披露】



【サトゥーン校の生徒たち】

移動市長室～おおさき宝探し未来トークin黎明祭～



文化祭一般公開の9月2日(日)、午後12:30から4階大講義室にて、『移動市長室 進もう！宝の路 「おおさき宝探し未来トーク in 黎明祭」』が開催されました。生徒代表パネラーとして茂泉舜哉君(3年)・今野莞太君(3年)・岩佐遥介君(2年)・伊藤颯矢君(2年)の4名が参加。伊藤康志市長と「大崎市の宝」は何か、大崎市の良いところを伸ばすための「しかけ」は何か。「自分が市長だったら何ができるか」について語り合いました。当日は一般の聴衆100名以上が参加し、高校生の素直な意見と斬新な発想に感心しながら、未来についての話に熱心に耳を傾けていました。



2018彩る感動 東海総体(インターハイ)結果

卓球部

伊藤凜々子さん出場！！



全国高等学校総合体育大会卓球競技大会

(8月3日～8日)

会場：愛知県スカイホール豊田)

【女子シングルス】

1回戦 伊藤凜々子 0-3 高田(明德義塾・高知)

1年生ながら、伊藤凜々子がインターハイに出場して参りました。愛知県豊田市は連日の猛暑でしたが、体調管理に努めベストの状態です。しかし、相手は強豪明德義塾の3年生。力及ばず敗退しました。今回の経験を活かし、今後さらなる活躍をご報告できるような日々の練習に励んで参ります。ご声援ありがとうございました。 <卓球部顧問 山田>

陸上競技部

原子大二朗くん 男子やり投

大和田真菜さん 女子ハンマー投



<結果>

- 男子やり投 原子大二朗
予選1組 24位 53m21
- 女子ハンマー投 大和田真菜
決勝 22位 44m88

『インターハイを終えて』

<3年 原子大二朗>

おはようございます。陸上競技部です。

私たちは8月2日から行われた全国高校総体に出場してきました。男子やり投、女子ハンマー投の2種目2名という少ない人数で戦うという状況は今までに無く、いつも応援してくれる仲間のおかげをとても感じる

試合となりました。結果としては2名共に予選落ちで悔しい思いが残りました。

昨年、一昨年の先輩方による全国大会連続入賞は私たちの心に大きな火を灯し、この大舞台へとつながりました。普段の練習から質の高いものを意識し、互いに教え合うことで切磋琢磨してきました。辛く苦しく記録が伸び悩んだ時に側で応援し続け、私の結果に本気で喜び、悲しんでくれる仲間や先生、そして家族の支えがあったからこそ、ここまで陸上競技を続け、そして陸上競技を好きでいられたのだと思います。

代替わりをして、今度は私たちが後輩たちの勇姿を見守る立場となりました。先輩方がつないでくれたもの全てを後輩たちに引き継ぐことができたのかは分かりませんが、彼らの姿を見ると私たち以上のことを成し遂げてくれると確信できます。代が替わるたびに伝統は深まり、よりチームとして発展していくと思いますので、これからも古川黎明高校陸上競技部の応援をよろしくお願ひします。

なぎなた部

< 2年 吉岡佳澄 >

私たちは、8月5～7日に三重県で行われた東海インターハイに、3年生2人、2年生4人、1年生2人の計8人で出場してきました。

結果は団体試合、演技競技ともに悔しいものとなってしまいました。しかし、なぎなた部がある学校は全国的にも少ないので、滅多に見ることができない他校の選手たちを直接みることでとてもよい経験になりました。

3年生はこれで引退となり、1、2年生の新体制で再出発となります。今回の大会で反省した点、学んだ点を生かしてこれからも頑張ります。応援よろしくをお願いします。

<大会結果>

【団体試合】(予選リーグ 2Bブロック)

古川黎明 0-4 今治東中等(愛媛県)

古川黎明 0-3 都立城東(東京都)

【演技競技】

(予選リーグ 1Gブロック)

吉岡・高井 0-5 清水・山村

(古川黎明) (清教学園・大阪府)

吉岡・高井 0-5 薬丸・吉富

(古川黎明) (長府・山口県)

(予選リーグ 2Dブロック)

梁川・福原 0-5 落合・伊東

(古川黎明) (稲生・三重県)

梁川・福原 0-5 中村・阿久津

(古川黎明) (植草大付属・千葉県)



【団体試合 対今治東中等教育学校戦】



【演技競技 対稲生高校戦】

信州総文2018

自然科学部・吟詠剣詩舞愛好会出場!

自然科学部

2年 菅原篤弥

私たちは、8月7日～9日に長野県茅野市の諏訪東京理科大学で行われた信州総文自然科学部門に出場しました。本校から参加したのは伊藤颯矢・操知希・菅原篤弥の3名です。

私たちの発表は、初日である7日の午後に行われました。制限時間の中で自分たちのできる限りの発表をしましたが、もっと聞きやすく分かりやすい発表をしている他県の代表も数多く、私たちの発表にはまだまだ改善の余地があると強く感じました。

発表会を通じて学んだことがあります。それは、聞きやすい発表のテクニックを身につけることだけでなく、発表後の質問に的確かつ簡潔に答えることの大切さです。発表が聞きやすくても質問に知識不足でしっかり答えられなかったという研究グループ、逆に質問には答えられたが、



聞きやすい発表とは言えなかった研究グループ。これらはいずれも入賞にはいたらず、このことから発表はプレゼンテーションもさることながら、質疑応答も重要であり、この二つのバランスの上に成り立っているのだと強く感じました。

発表の他には、8日に巡検があり、9日に交流会と閉会式がありました。これらの行事を通して、他県の高校生と交流をすることができ、さらには自分たちの研究と同じジャンルの研究をしている高校生と情報交換をすることもでき、大変有意義でした。

結果は残念ながら入賞できませんでしたが、信州総文で学んだことを今後の研究の糧にしていきたいと思います。

応援した下さった方々、様々な面で私たちを支援していただいた方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

吟詠剣詩舞愛好会

「信州総文祭を終えて」

3年 氏家千里

私達、古川黎明高校吟詠剣詩舞愛好会は、8月11日に行われた2018信州総文祭の吟詠剣詩舞部門に出場してきました。ひろしま、みやぎ総文に続き3回目の出場となりました。私達は1年生から3年生までの11人でこの総文祭に向けて、限られた時間の中で一生懸命練習に取り組んできました。今回は構成吟「みちのくへの誘い」として、去年とは全く違う新しい演目を披露しました。その中でも一番苦労したのは、構成吟の最後の曲の「平泉」です。吟士2人の号吟と剣士9人全員で舞う曲ですが、初めは吟も剣舞もバラバラで、完成させるのに時間がかかりました。総文祭当日、舞台袖に行くと多くの観客が見え、ついに本番か、と少し緊張を感じました。私は2、3曲目が出番なので1曲目を見守っていました。初出場の1年生は大丈夫か心配していたのですが、落ち着いて踊りきり、安心して自分も踊ることができました。そして最後の「平泉」。「夏草や 兵どもが 夢のあと」2人の号吟と9人の剣舞が合わさり、最後の扇を用いた決めポーズまで、今までで一番の出来だったと思います。全ての曲が終わり、「ありがとうございました」と礼をすると、何とも言えない達成感と、3年間吟詠剣詩舞を続けることができよかったと改めて感じました。夏草や兵どもが夢のあと。私達が一生懸命取り組んだ練習も、総文祭という大舞台も、夢のようにあっという間でした。3年生の私はこれで愛好会を引退しますが、このような大きな舞台の経験、多くの吟詠剣詩舞に取り組む高校生達と交流ができ、とてもいい経験になったと思います。こんな素晴らしい経験をできたのは、私達を応援してくれた家族、学校の同級生や先生方、私達の発表を観てくれた方々のおかげです。本当にありがとうございました。



NHK杯全国高等学校放送コンテスト出場

放送部

7月24日～26日に国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）にて開催された第65回NHK杯全国高等学校放送

コンテストに、安田翔羽さん（3年）が朗読部門で出場しました。作品は川上弘美『なんとなく日々』です。惜しくもNHKホールで行われた決勝には出場できませんでしたが、大勢の観客の前で堂々とした朗読を披露しました。



※右側が安田さん

<放送部顧問 大友>